

2020年1月16日
株式会社日立製作所
日立電梯(中国)有限公司

世界トップクラスの高さを有するエレベーター試験塔「H1 TOWER」が 中国・広州の研究開発・製造拠点内に完成



「H1 TOWER」の外観

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)の中華人民共和国(以下、中国)における昇降機製造・販売・サービス会社である日立電梯(中国)有限公司(CEO:水本 真治/以下、日立電梯(中国))は、本日、中国・広州市の研究開発・製造拠点内に、世界トップクラスの高さ^{*1}を有するエレベーター試験塔「H1 TOWER(エイチワンタワー)」を完成させました。

「H1 TOWER」は、昇降機製品の研究開発、最先端技術の実証を行う昇降機事業のグローバル基盤となる施設で、地上高 273.8m、ならびに、15m の地下部分を含めた建物全体の高さ 288.8m は、ともにエレベーター試験塔として世界トップクラスの高さ^{*1}です。塔内には、長さ 250m 超の昇降路をはじめとする 15 本、総延長 2.2km 超の試験用昇降路を備えており、超高速エレベーターや大容量エレベーター、ダブルデッキエレベーター、運行管理システムなど、さまざまな技術・製品の開発、試験を行うことが可能です。日立と日立電梯(中国)は、「H1 TOWER」での研究開発を通じて、技術・製品のイノベーションの実現をめざします。

日立は、2010年4月に、世界の昇降機市場における高速・大容量エレベーターの需要拡大に対応するため、エレベーターの研究施設として高さ世界一(当時)の地上高 213.5m の研究塔「G1TOWER」を日本に建設しました。2019年9月には、「G1TOWER」において開発、試験を行い、中国・広州市の超高層複合ビル「広州周大福金融中心」に納入した分速 1,260m^{*2}のエレベーターが、「世界最高速エレベーター^{*3}」としてギネス世界記録™に認定されました。今回新たに完成した「H1 TOWER」は、日立のグローバル昇降機開発戦略において、日本の「G1TOWER」と連携して重要な役割を果たし、中国およびグローバルの多様な市場のニーズに対応します。

日立は、今後も最先端のデジタル技術を、製品・サービスの開発に幅広く活用し、安全・安心・快適な昇降機や、都市空間におけるお客さまのさまざまな課題解決に貢献するサービスをグローバルに提供し、持続可能な社会の実現に貢献します。

*1 2020年1月時点、日立調べ。

*2 分速1,260m=時速75.6km(47miles)=秒速21m

*3 正式記録名:The fastest lift (elevator)

■日立製作所について

日立は、OT(Operational Technology)、IT(Information Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2018年度の連結売上収益は9兆4,806億円、2019年3月末時点の連結従業員数は約296,000人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、ITの5分野でLumadaを活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の3つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp>)をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立ビルシステム カスタマーサポートセンター

電話:0120-7838-99(フリーダイヤル)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
